

mm/
style

FurnitureMaker
PICO シリーズ

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

<最初にお読みください>

- お引き渡し時（使い始め）に正常に動作しない場合は「こんなときは…」の項目をご確認いただき、なお異常がある場合は、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（次ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お引き渡し日」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 転居される場合は、新しく入居される方が製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

警告



分解禁止

- 絶対に改造・分解・修理をしない
けがの原因になります。
(修理のご相談はお客様相談窓口へ)



禁止

- カセットコンロなど火を使う機器を使わない
火災の原因になります。



必ず守る

- 各家電製品の指定する空間寸法を
設けて使用する
故障や火災の原因になります。

注意

家電用スライド棚・多目的スライド棚



必ず守る

- 出し入れはゆっくりと行う
指をはさむおそれがあります。
- 家電製品を使用するときは、必ず引き
出して使用する(ただし炊飯器・
ジャーポットの保温時は除く)
ユニット内に蒸気がこもり、水滴の発生原因になります。

扉・取手



禁止

- ぶら下がらない
- 大きく開けすぎない



必ず守る

- 扉が傾いたり、がたついているときは、
ヒンジ(ちょう番)のねじを締め直す
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

フロートユニット(床から浮いて設置された箱)



禁止

- 乗らない、座らない
箱が外れて、けがをするおそれがあります。

棚板



必ず守る

- 棚板の目安積載量はサイズにより異なり
ます。P5の棚板耐荷重の目安をご参照
ください
- 可動棚の位置調整時には、棚板を棚受
けにきっちりとはめる。
棚板が外れて、けがをするおそれがあります。

引出し



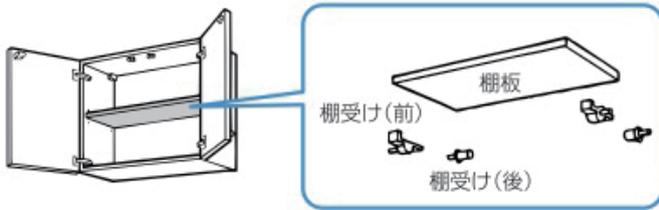
禁止

- ぶら下がらない
引出しが外れて、けがをするおそれがあります。

ユニット

棚板

棚板は、好きな位置に移動させることができます。
棚板を外し、棚受けを移動させてください。
棚受けには前後があります。



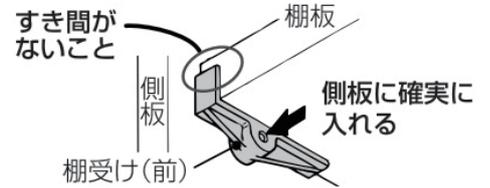
注意



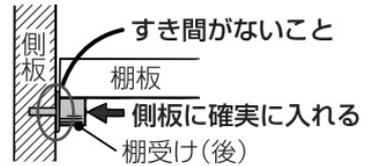
位置調整時には、棚板を棚受けに
きっちりとはめる
必ず守る 棚板が外れて、けがをするおそれがあります。

棚受けの取り付け

棚受け(前)

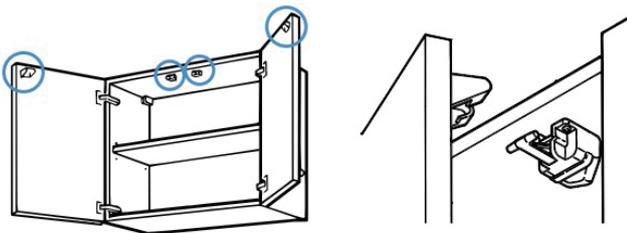


棚受け(後)



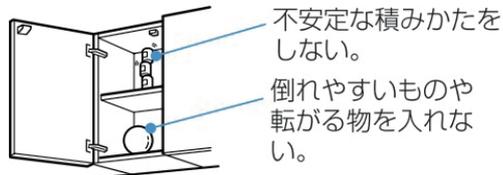
耐震ロック

地震発生時、扉が開かないように「耐震ロック」が働きます。



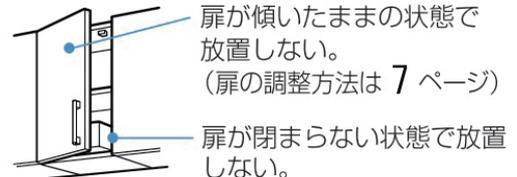
※地震がおさまると、自動でロックが解除されます。

●正しく機能させるために



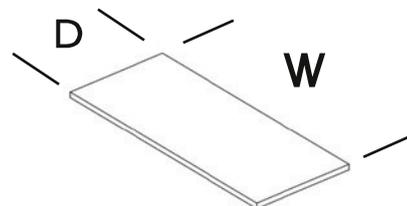
地震の強さ、揺れかたや地質・建物の構造・階数・取付状態・ユニットの使われかたにより、耐震ロックが働かないことがあります。

耐震ロックは振動で作動します。
扉は静かに開閉してください。



棚板耐荷重の目安

サイズ	板厚	耐荷重
W900XD300	15mm	5Kg
W900XD550	15mm	10Kg



※ 棚板のタワミが 1.5mm になる重さの目安です。

ご使用上のお願い

物がはさまったまま、無理に扉を閉めない

ヒンジ（ちょう番）などが破損する原因となります。

収納物は片寄りなく入れる

片寄って入れると、ユニットの変形や破損の原因となります。

引出しの収納物は片寄りなく入れる

片寄って入れると、引出しが傾く原因となります。

扉や引出しに 無理な力をかけない

丁番やレールが破損する原因となります。



引出しは一段ずつ開閉する

上下同時に引出しやスライド棚を開閉すると、上下の扉がこすれる場合があります。



腐敗や発酵など劣化のおそれのあるものは収納しない

冷蔵庫や電子レンジ・オーブンレンジなどの機器から発生する熱によって室温よりユニット内温度が5°C程度上昇する場合があります。

熱源等を近づけない

熱源（ドライヤー、暖房機器、仮設電球等）を近づけないようご注意ください。

扉の開閉時にはご注意ください

お子様が近くにいる場合、扉や引出し、スライド棚で手や指をはさまないように扉を開閉してください。

炊飯器・ポットなどの 使用時は蒸気に注意する



蒸気が直接家具にあたると、扉やユニットの表面が膨れ・はく離するおそれがあります。

シールやテープ類を 貼らない

表面がはがれたり、汚れが落ちにくくなるおそれがあります。



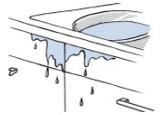
汚れたままにしない

油・調味料など食品の汚れは、腐食やかびの原因となります。



ぬれたままにしない

家具表面や端面のはがれ、染み・膨れの原因となります。



ぬれたタオルをかけない

取手にぬれたタオルをかけると、扉の劣化の原因となります。



お手入れのしかた

○ 使える洗剤・道具



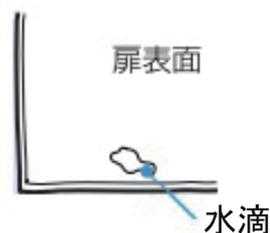
✕ 使えない洗剤・道具



■ 扉・取手・ユニット内部・引出し

日常のお手入れ

固く絞ったふきんで水ぶきし、仕上げにからぶきする。
アルミ枠ガラス扉など水ぶきする場合、固く絞ったふきんを使用しないと、すき間から水が染み込み、表面から水滴が見えることがあります。



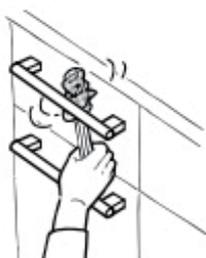
汚れているとき

● 扉

- 1 台所用洗剤（中性）を含ませたふきんでふく。
- 2 固く絞ったふきんで水ぶきし、仕上げにからぶきする。

● 取手

- 1 細かい部分は割り箸に布を巻き、その先に台所用洗剤（中性）を含ませてこする。
- 2 固く絞ったふきんで水ぶきし、仕上げにからぶきする。



● ユニット内部

- 1 調味料や油が垂れて底板にこびりついた場合、まず中の収納物を全部新聞紙の上などに出して、隅々のごみを取り出す。
- 2 台所用洗剤（中性）を含ませたふきんでふく。
- 3 固く絞ったふきんで水ぶきし、仕上げにからぶきする。
※ 収納物を戻すとき、瓶などの底をきちんとふいておきましょう。

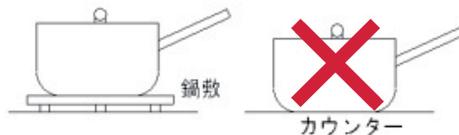
お手入れのポイント

- お手入れした後は、ユニット内部を空の状態にしたまま、扉を開けて風を通します。お手入れ日以外でも時々扉を開けましょう。
- ユニット内部に物がぎっしり収納されていると普段の出し入れも、お手入れも大変。収納量は70%～80%程度に抑えましょう。

■ カウンター

⚠ 注意

- ・ 沸騰した鍋、ヤカンや油鍋等は直接カウンター表面には置かず、必ず鍋敷き等の上に置いてください。



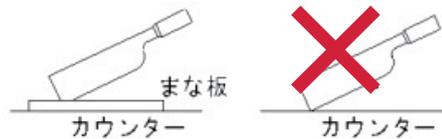
- ・ 火のついたタバコを直接カウンターの上に放置せず、必ず灰皿を使用し



- ・ ドライヤーやストーブ等の熱をカウンターの表面に直接当てないでください。



- ・ カウンターの上で直接包丁やカッターナイフ等を使用しないでください。



- ・ カウンター表面にかたい物を落としたり、ぶついたりしないでください。

- ・ カウンター基材には木質材料が使用されておりますので、洗面所などの湿気の多い場所は換気等を十分に行ってください。

お手入れのしかた

○ 使える洗剤・道具



✗ 使えない洗剤・道具



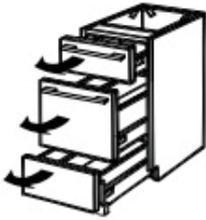
(強酸・強アルカリを含む洗剤の原液の使用は避けて下さい。万一付着した場合は、速やかに拭き取って下さい。)

こんなときは・・・

■ 引出しの取り外し・取り付け（鋼製・ソフトクローズ）

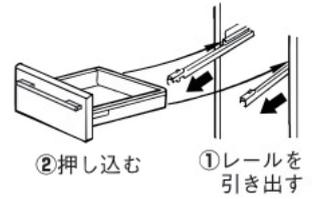
● 取り外し

いっぱい引き出し、少し持ち上げて引き抜く。



● 取り付け

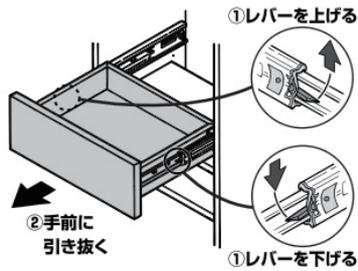
- ①左右のレールを引出し、矢印の部分に引出しを差し込む。
- ②「カチッ」という音がするまで引出しを押し込む。



■ 引出しの取り外し・取り付け（木製）

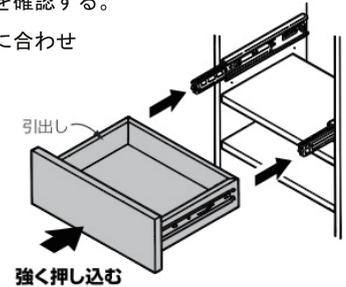
● 取り外し

- ① レールをいっぱいまで引き出し、黒いレバーを上げる。（下げる）
- ② 手前に引き抜く。



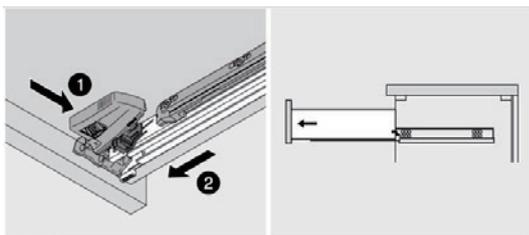
● 取り付け

- ① 本体側のレールを少し手前に引きレールのかみ合う位置を確認する。
- ② 木製引箱のレールを溝に合わせ強く押し込む。

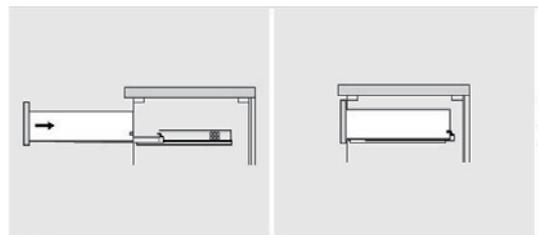


■ スライド棚の取り外し・取り付け

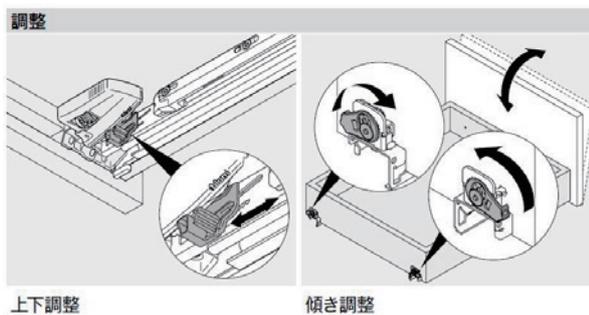
● 取り外し



● 取り付け

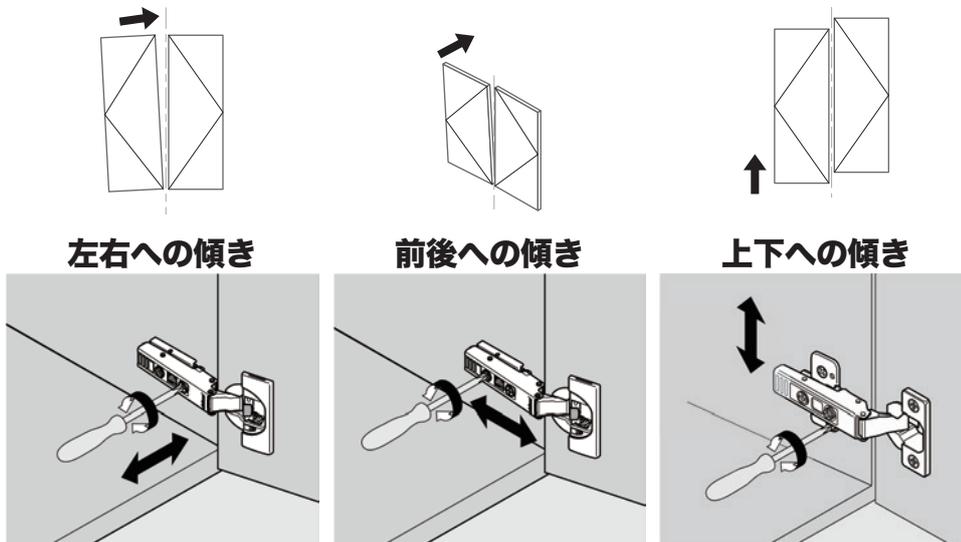


● 調整

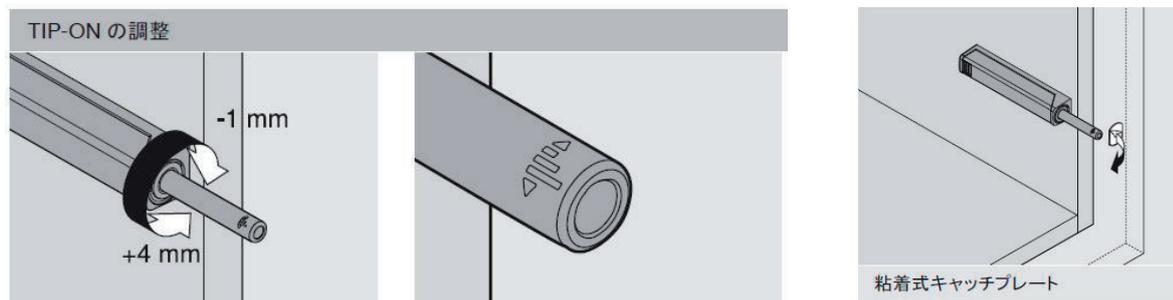


■ 扉が閉まらない・揃わない・

ヒンジ（ちょう番）の調整ねじをプラスドライバーで調整する。



■ プッシュオープン金具の調整



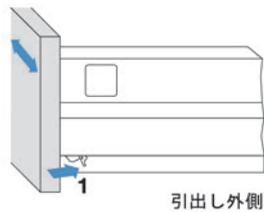
■ 鋼製引出し(ソフトクローズ)の調整

収納物を片寄りなく入れているか確認してください。それでも前板が揃わない場合は、調整をしてください。

調整方法

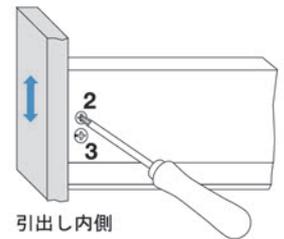
左右調整

- ・ 固定レバー(1)を後ろへ押し込んだ状態で保持
- ・ 前板を少し持ち上げて溝に引っ掛からないように動かす
- ・ 調整範囲±1.5mm
- ・ 希望の位置に調整して固定レバーを離す(1)



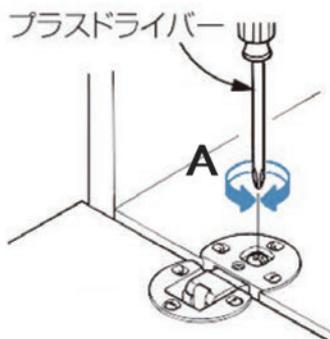
高さ調整

- ・ ネジをゆるめる(2)
- ・ 偏心ネジで前板を希望の位置に調整(3)
- ・ 調整範囲±2mm
- ・ ネジを締め付ける(2)



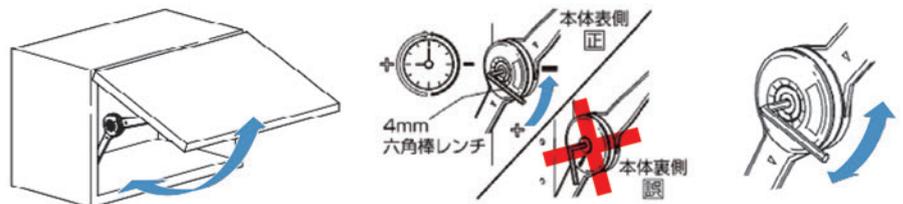
● 金具の調整

日常の開閉動作により、ねじが緩むことがありますので、がたつきがある場合はAにゆるみがある可能性がある為、締め直してください。



● フラップ・ステーの調整

トルク値の調整は、本体表側中央の4mm六角穴を回して調整してください。2本使いの場合には、調整は左右均等に行ってください。

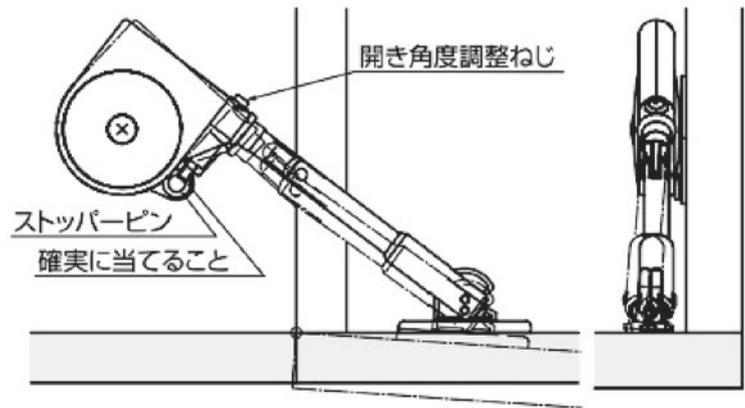


トルク値が弱くなり最適な作動を得られなくなった場合には再度調整を行ってください。

※ 調整後は、扉を実際に動かして最適な作動を得られたか確認してください。

● フラップダウン・ステーの調整

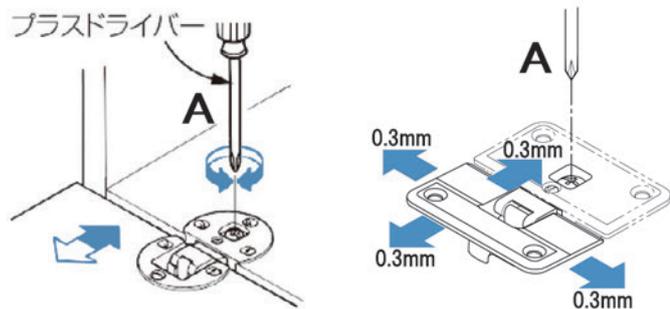
扉を最大に開いた時、アームが「く」の字に曲がらないようアームが真っ直ぐになるよう調節してください。
 ステーの開き角度調節ねじを座金のストッパーピンに当て、アームが真っ直ぐになるよう調節してください。



● フラップダウン(扉を揃える)

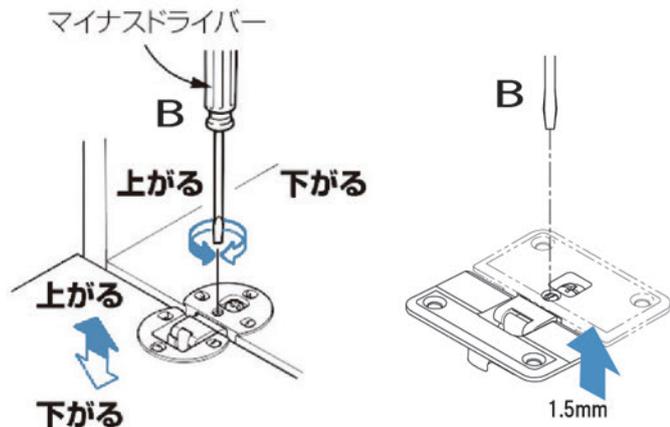
左右前後調整

- ① Aのねじを左に回してゆるめる
 (全ての丁番のねじをゆるめて下さい)
- ② 扉を左右前後に動かす
- ③ Aのねじを右に回して締める
 (全ての丁番のねじを締めて下さい)
 [左右調整±1mm、奥行調整+2.5/-0mm]



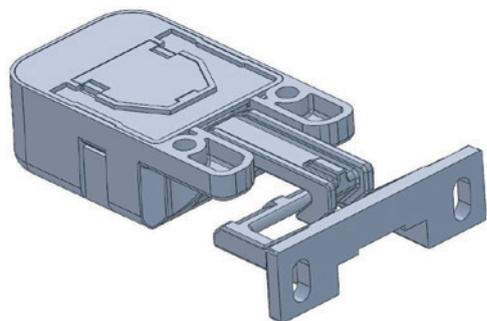
上下調整

- ① Aのねじを左に回してゆるめる
 ※この時、左右前後も動きませんので注意して下さい
- ② Bのねじを左右に回す
 ※回しすぎるとねじが抜けてしまうのでご注意ください
- ③ 位置が決まったらAのねじを右に回して締める [上下調整±1.5mm]



※調整後、再度Aのねじが締まっているか確認してください。
 ※調整後は扉を2~3回開閉し、金具が固定されていることを確認してください。

地震感知ロック

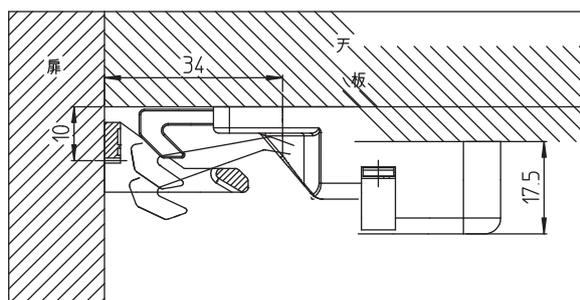
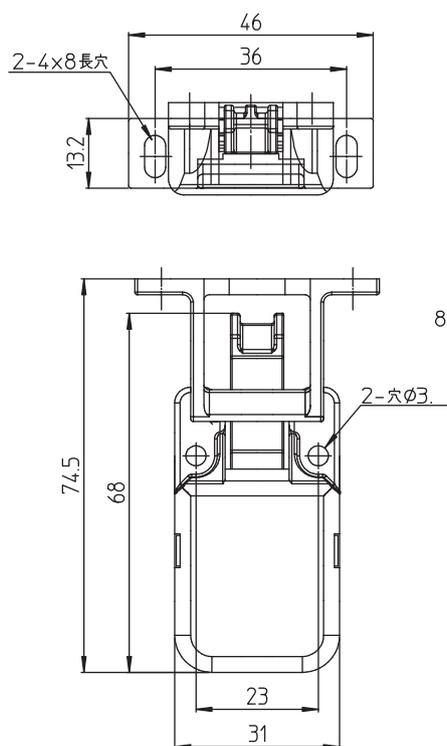


○特長

- ・地震が発生した場合に扉が開くのを防ぎます。
- ・主に腰よりも高くにある開扉の収納全般にご使用ください。
- ・普段の扉開閉時にはロックが掛からず、音鳴しません。地震が発生した場合にロックが掛かり、地震が納まると自動でロックが解除されます。
- ・高さが 18mm 以下と薄いので邪魔になりません。
- ・ロックフックの振り幅が大きいので施工許容差ロック精度が優れています。

○性能

- ・引張静荷重 400N でも扉が開きません。
- ・震度 4 以上の揺れでロックが作動します。
- ・地震の種類、振動の程度によっては作動しない場合があります。
- ・建物の構造、地盤、設置階数、収納物等によっては作動しない場合があります。



※自動解除式なので完全にロックを保証する訳では無いのでご了承ください。

保証書

お客様	お名前	お引き渡し日	年 月 日
	ご住所	保証期間	お引き渡し日から 1年間
電話番号 ()			

無償修理規定

本書はお引渡し日から本書に明示した期間中故障が発生した場合には、無償修理規定の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、当社の指定する方法にて無償修理をさせていただきます。
(イ) 無償修理をご依頼になる場合には、巻末のお客様相談窓口にお問い合わせください。
(ロ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
尚、お客様相談窓口以外に連絡された場合は、無償修理が受けられない場合があります。
 - 保証期間内でも次の場合には原則「有償対応」にさせていただきます。
(イ) 使用上の故意・過失または当社以外の者が行った修理や改造による故障及び損傷
(ロ) 消耗部品の取替えや修理
(ハ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
(ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)等による故障及び損傷
(ホ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(ヘ) 仕上げの傷等で、お引き渡し時に申し出がなかったもの
(ト) 暇庇によらない自然の磨耗、さび、かび、変質、変色、その他類似の事由による場合
(チ) 維持管理の不備による膨れ、汚れ、さび等の不具合
(リ) 第三者による管理上、メンテナンス上等の不備に起因する不具合
(ヌ) 犬・猫・鳥・鼠等の小動物や虫等の行為に起因する故障及び損傷
(ル) 設置説明書に記載された方法以外の設置内容に起因する損傷や故障
(オ) 建築躯体の変形等対象商品本体以外の不具合に起因する故障及び損傷
(ワ) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合
(カ) 保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかったもの
(コ) 一般家庭用以外(事務所、店舗、病院等業務用)に使用された場合の故障及び損傷
(ク) 本書のご提示がない場合
(ケ) 保証書にお引渡し年月日、お客様名の記入のない場合(領収書等で上記内容がわかる場合はその限りではありません)あるいは字句を書き替えられた場合
(コ) 保証書に記載されたお客様以外の方からお申出を受けた場合
(ソ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
(セ) 家具本体にかかわるシーリング処理
(タ) 展示品を転売された場合
- 本書は日本圏内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※ お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無償修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承下さい。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。

販売元

お客様相談窓口 使い方・お手入れ・製品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は下記にご連絡下さい。

お客様相談窓口における
お客様の個人情報のお取り扱いについて

ファニチャーメーカー(株)は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

発行元


FurnitureMaker

ファニチャーメーカー株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-28-6 いちご西参道ビル 1F
TEL.03-6300-9085 E-mail: mmstyle@furnituremaker.co.jp
受付時間: 平日 10:00~18:00(土日祝休)

発行日 2019年 11月 5日